

8 おだ保 017
令和 8 年 11 月

おだ学園保育園通信



おだっこ展のご参加ありがとうございました！

～「ひかり・かげ・おと」の世界を五感で楽しんだ一日～

今年度は東京都の「すくわくプログラム」の支援をいただき、**「ひかり・かげ・おと」をテーマにした環境構成**を取り入れました。職員がチームを組んで各エリアを担当し、日頃の保育をお家の方たちに伝える場、そして一緒に体験していただく企画として開催いたしました。

当日はたくさんのご参加とアンケートへのご協力をいただき、本当にありがとうございました。

コドモンの連絡帳等で寄せられた、保護者の皆様からの温かいご感想を一部抜粋してご紹介いたします。

保護者の皆様からの声（コドモンより抜粋）

「おと」のコーナーで夢中に

- 「最初はいつもと違う保育園の雰囲気に緊張していたようでしたが、音のコーナーでは色々な物の音に集中して遊び、その後は緊張感が少し和らいだようでした😊」

「ひかり・かげ」の不思議を体感

- 「終わってからも『楽しかったね！お部屋が暗くなって面白かった！』とお話ししてくれました」

お家でも続く「おだっこ展」の余韻

- 「とても楽しかったようで、持ち帰った制作物と家にあったライトを使って、週末も遊んでいました」
- 「影コーナーで作ったうさぎ（ミッフィーらしいです）は家でも遊んでいました」

職員への温かい励まし

- 「事前準備、設営、運営と通常保育の中、がんばっていただきありがとうございました。お陰様で楽しかったです」

これからの保育に向け

「ひかり・かげ・おと」のテーマは、行事のその日だけのものではありません。不思議だなと感じる心、耳を澄ませる心地よさなど、日々の保育や生活の中で**継続して感性の育ちから学びへと繋げていきたい**と考えています。

子どもたちがこれからどんな発見をしていくのか、日々の保育の中で大切に見守り、またお伝えしていきますね。

…今月の園内開放・だれでも談話 11 月 14 日（土）となります。９：３０～１２：３０…



芋掘り遠足に行ってきます！（4 歳そら，5 歳児ほし組）

～五感で体感する、たくさんの「学び」

今年も**稲城市若葉台にある「市村農園」さん**のご協力で、実施します。
10 月 30 日（金）に予定していましたがあいにく雨が降ったりやんだりのお天気模様。
前夜の雨で足場が気になる畑の活動なので 11 月 12 日（木）に延期としました。

お芋掘りはたくさんの「体験学習」

- **「重い・軽い」の実感（五感の育ち）**
行きのリュックは軽かったけれど、帰りはお芋が入れたリュックはとってもずっしりと…「重たい～！」と実感することでしょう。自分で掘ったお芋を頑張って持って帰ることになります。お家の人たちに喜んでもらえることが子どもたちの大きな「満足感」や「自信」につながることと思います。さらに「そら、ほし」が掘ったお芋を園でお留守番していた人たちにも分けてあげることで思いやりなど心が育っていきます。
- **「量と大きさ」の比較（数や量への関心）**
畑では、土から掘り起こしたお芋をみんなで「大・中・小」の大きさに分けてそれぞれ山を作ります。「こっちの方が大きい！」「これは真ん中かな？」と、大きさの違いがよくわかる 4・5 歳児ならではの観察力が養われることと思います。
- **□ 自分で「選別」する（判断力と公平さ）**
山分けしたお芋の中から、「大」「中」「小」それぞれ 1 本ずつを選び、自分のビニール袋へ入れていくことで自分でじっくり見て選ぶ楽しさを味わえる活動へとつなげていく予定です。
持ち帰ったお芋はそれぞれご家庭で美味しく召し上がってください。12 日は晴れますように！

★保育の「質」を高めるために～環境スケールを用いた園の取り組み～

当園では、子どもたちにとってより良い保育環境を提供し、子育ての質をさらに上げるため、毎年**「環境スケール」を用いた保育環境の評価・見直し**を実施しています。

「環境スケール」とは？

集団保育の質を客観的に測定するためにアメリカで開発された、世界的な評価尺度です。職員が日頃の保育環境を振り返り「不適切・最低限・よい・とてもよい」の基準で自己評価を行うことで、新たな気づきや環境の改善につなげています。具体的には、以下のような多角的な視点からチェックを行っています。

- **［室内空間・衛生］**
「室内で換気が調整可能である」（室内でエアコン調整ができるなど）
「現在、保育室を利用する大人と子どもの全員の出入りに不自由がない」安全で快適な空間づくりを確認します。
- **［保育者と子どものやりとり］**
「保育者は、通常、よく観察しており、子どもからの働きかけに応答的である」（例：バブバブとか何か言ったことに応答する等）日々のコミュニケーションの質を高めます。

地域の仲間と共に、さらなる高みへ

この取り組みは当園の中だけで終わらせるのではなく、**多摩市内の他園の保育士・職員の皆様とも実施評価を共有**しています。お互いの園の工夫を学び合い、質の高い保育を目指しています。